

# MRAPID

## 青森県感染症発生情報

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2005年10月 (2005年11月11日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419  
 青森県環境保健センターホームページ  
<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第40週から第43週(10月3日～10月30日)までの動向

- 1) STDは9月に比べて患者数が減少しました。特に20代後半の女性の患者数が減少しました。また、疾病別では、性器クラミジア、性器ヘルペスの減少が目立っています。
- 2) 全数把握届出疾患は次のとおりです。  
 弘前保健所管内 つつが虫病：1名、ウイルス性肝炎：1名  
 上十三保健所管内 パラチフス：3名、つつが虫病：1名

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	10	3.33	12	4.0	6	3.00			4	2.00			32	2.46
76 性器ヘルペス			5	1.7	4	2.00							9	0.69
77 尖形コンジローマ	2	0.67	1	0.3	1	0.50							4	0.31
78 淋菌感染症	2	0.67	1	0.3	3	1.50			1	0.50			7	0.54

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖形コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～1										
1～4										
5～9										
10～14										
15～19	1	6				1		1	1	8
20～24	2	12	1	3			1	1	4	15
25～29	3	2					1		4	2
30～34	1	1		1	1				2	2
35～39							2		2	
40～44	3				1		1		5	
45～49										
50～54	1			1			1		2	1
55～59					1				1	
60～64			1						1	
65～69										
70～			2						2	
合計	11	21	4	5	3	1	6	1	24	28

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

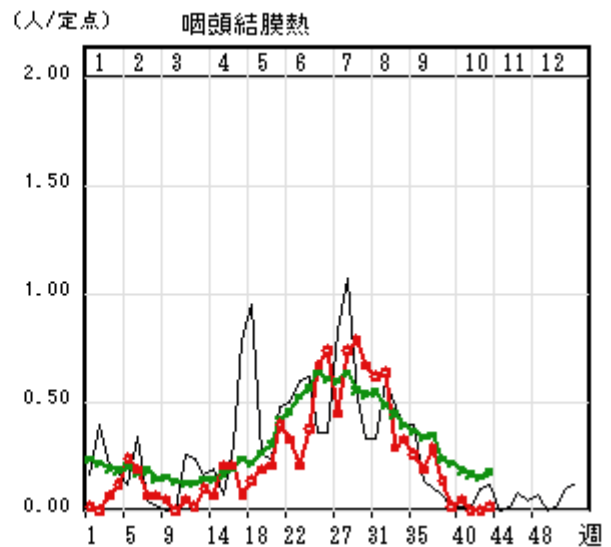
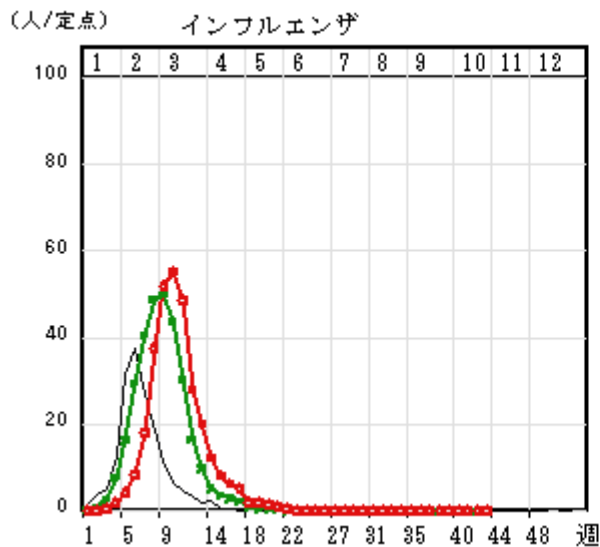
	採取部位別											青森県合計
	喀痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5		1								5	11
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症											1	1

4. 全数把握感染症 (2005年)

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱			2	31
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎			1	2
	5 ペスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症				
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			6	43		38 ボツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢		1	47	435	39 マラリア			8	44	
	11 ジフテリア					41 ライム病				5	
	12 腸チフス		1	6	36	43 レジオネラ症		1	27	153	
	13 パラチフス	3	3	4	14	45 アメーバ赤痢		2	25	281	
	14 腸管出血性大腸菌感染症		17	307	2,843	46 ウイルス性肝炎	1	1	10	95	
3類	18 エキノコックス症				7	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症			1	5	
	20 オウム病			3	24	49 クロイツフェルト・ヤコブ病		1	5	61	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	20	
	22 Q熱				4	51 後天性免疫不全症候群		8	41	433	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			4	28	
	25 コクシジオイデス症			1	2	53 髄膜炎菌性髄膜炎				4	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群					
	28 炭疽					55 梅毒		1	22	234	
	29 つつが虫病	2	14	7	78	56 破傷風		2	5	40	
30 デング熱			6	41	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	3	26		

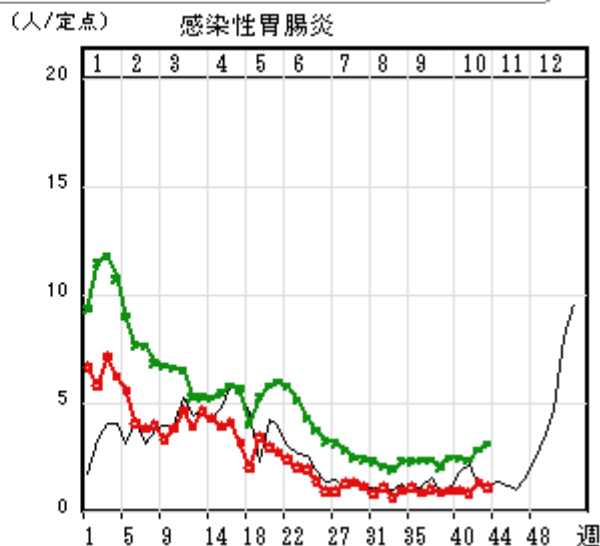
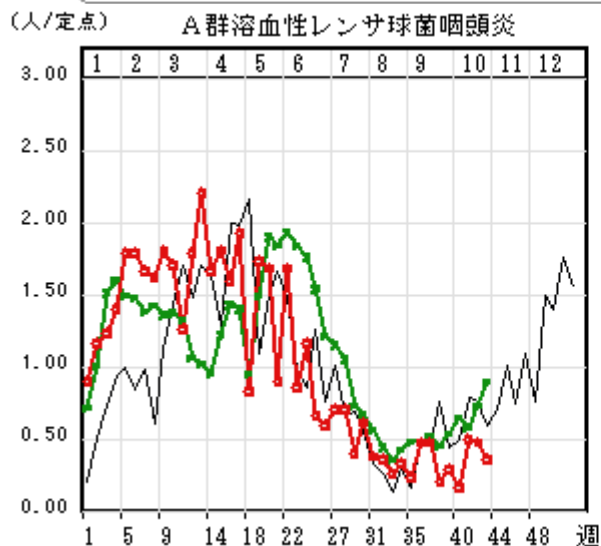
5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年(青森県)    — : 前年(青森県)    ×—× : 当年(全国)

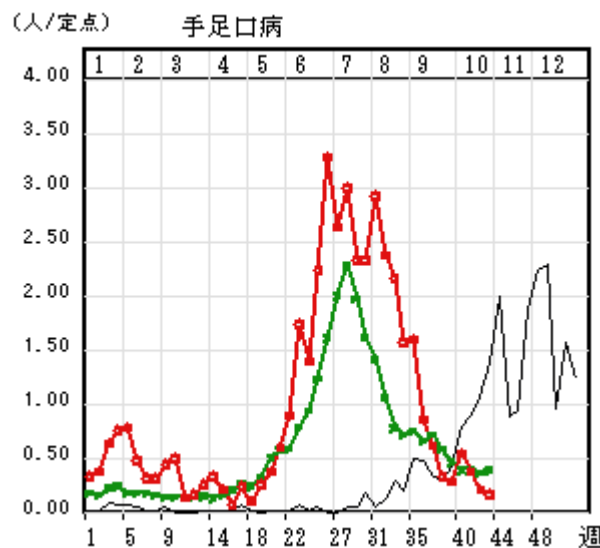
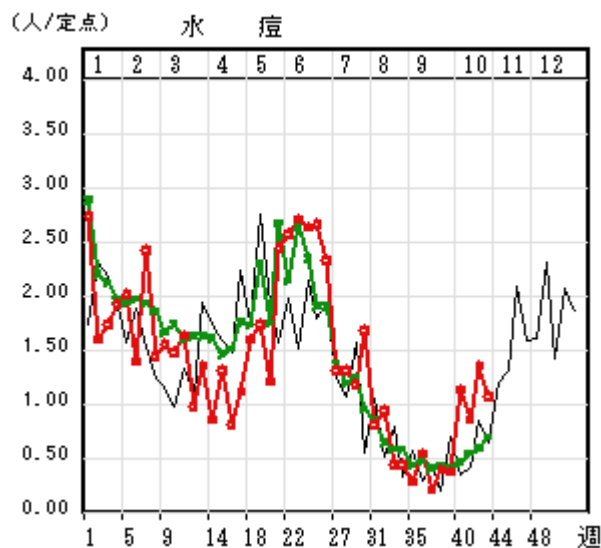


インフルエンザは、当月中の発生報告はありませんでした。咽頭結膜熱は、極めて低く推移しています。

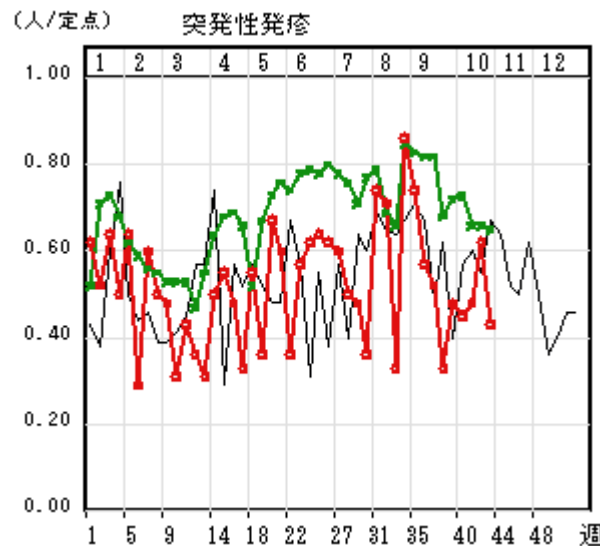
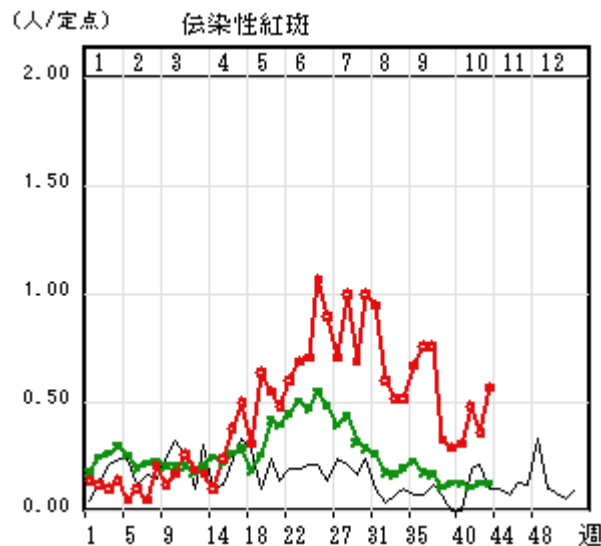
○—○ : 当年 (青森県)    — : 前年 (青森県)    ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は昨年同期及び全国と比較して、低い値で推移しています。  
 感染性胃腸炎は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

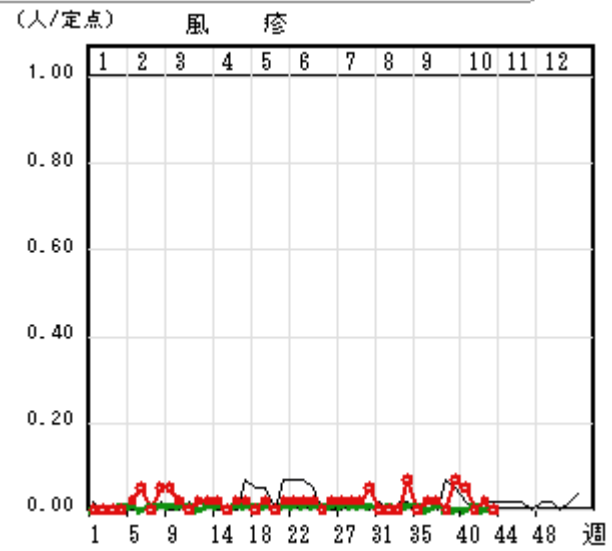
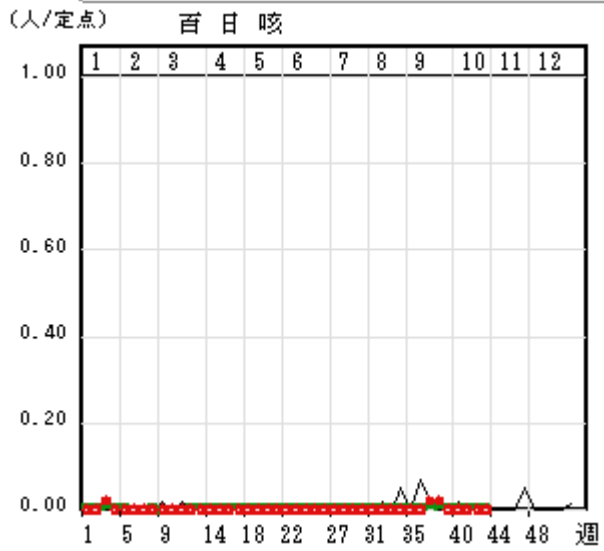


水痘は、増加傾向にあります。手足口病は、減少傾向にあります。

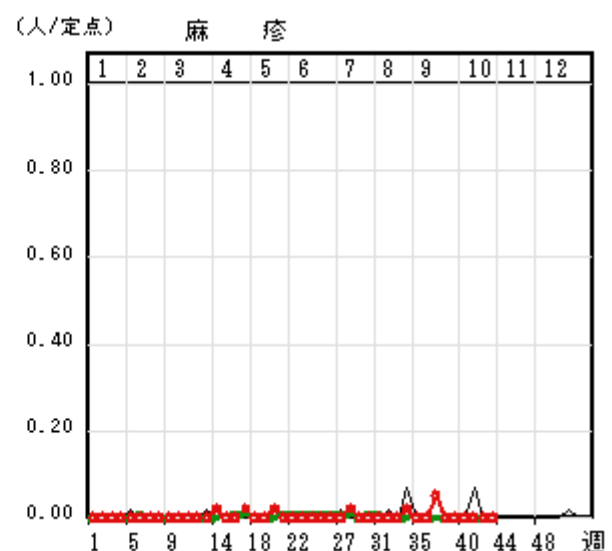
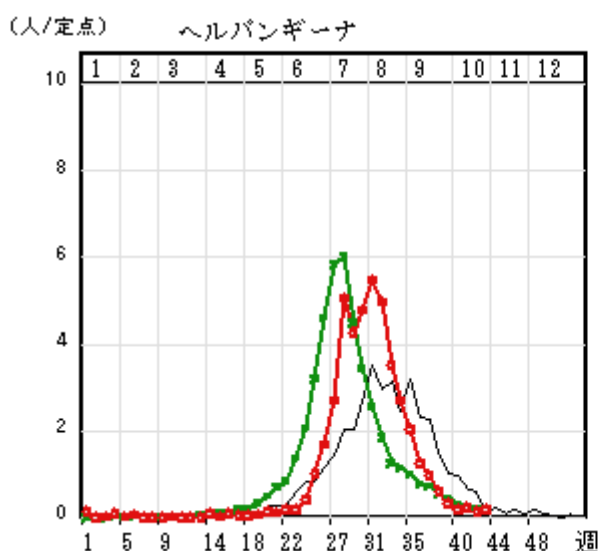


伝染性紅斑は、再び増加に転じました。突発性発疹は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

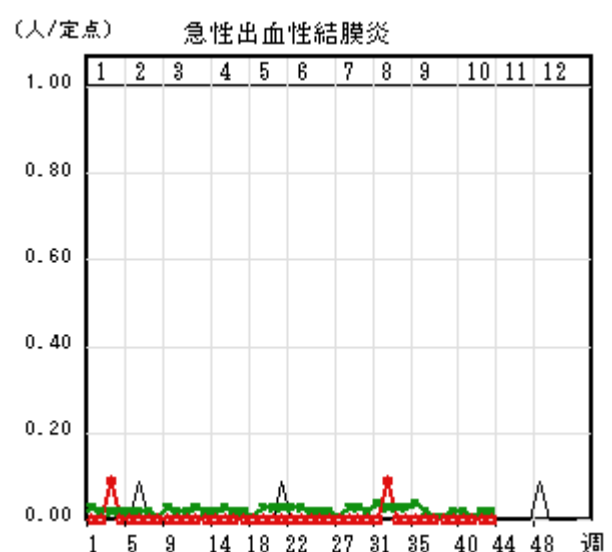
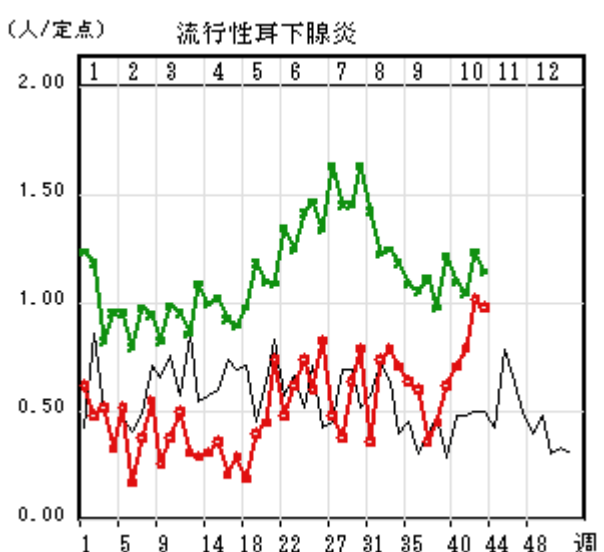
○—○ : 当年 (青森県)    — : 前年 (青森県)    ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、当月中の発生報告はありませんでした。風疹は、低い値で推移しています。

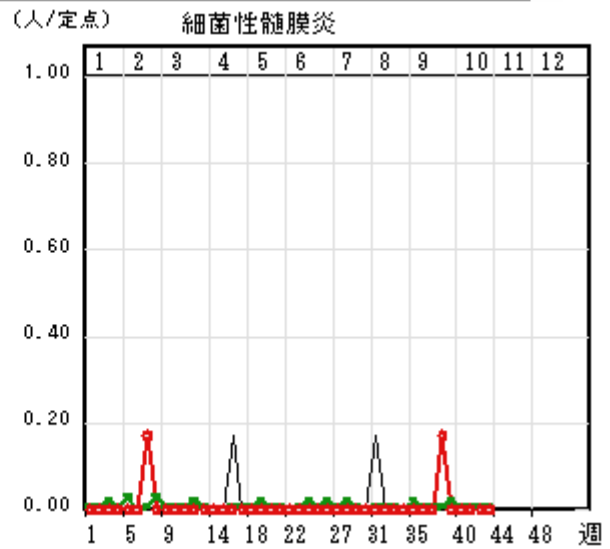
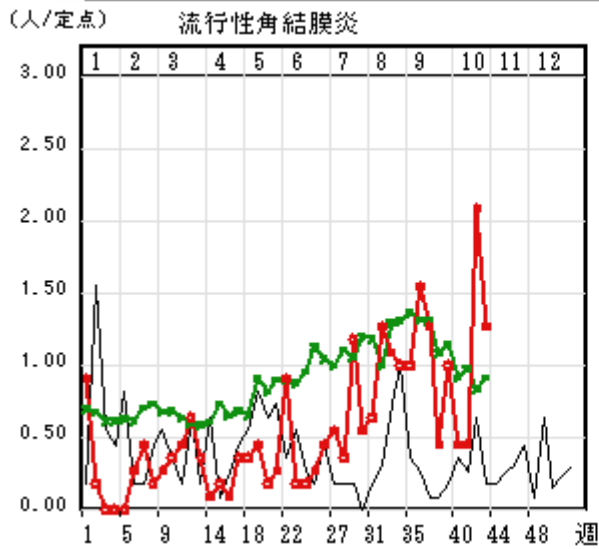


ヘルパンギーナは、低い値で推移しています。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。

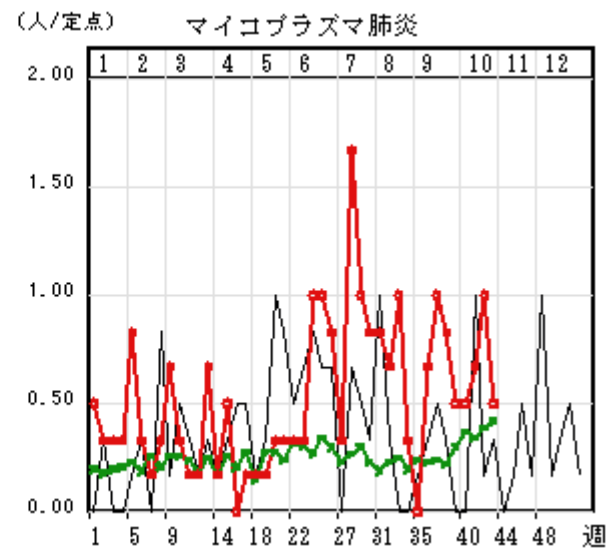
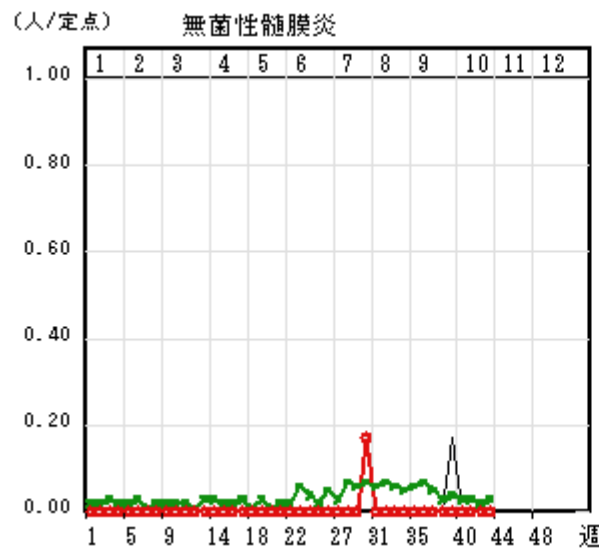


流行性耳下腺炎は、全国値よりは低いものの増加傾向にあります。  
急性出血性結膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

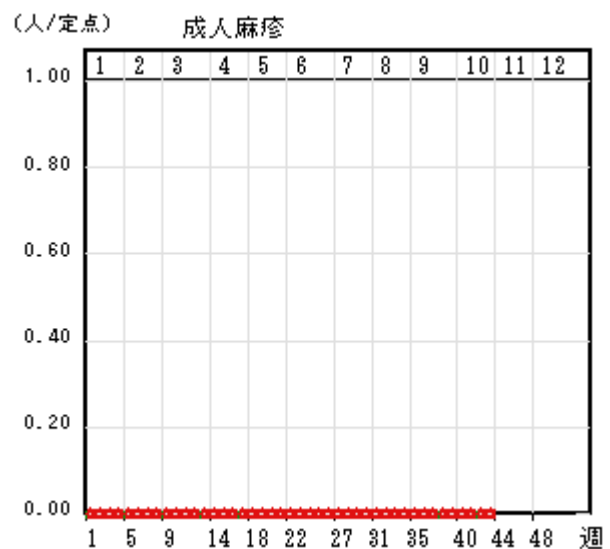
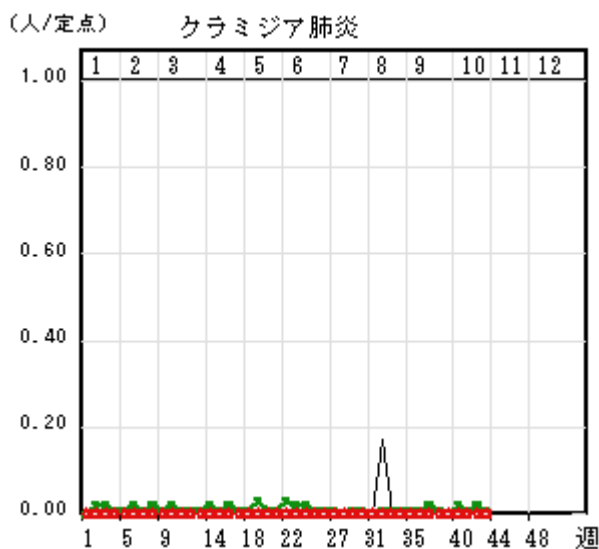
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



流行性結膜炎は、増加傾向にあります。細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



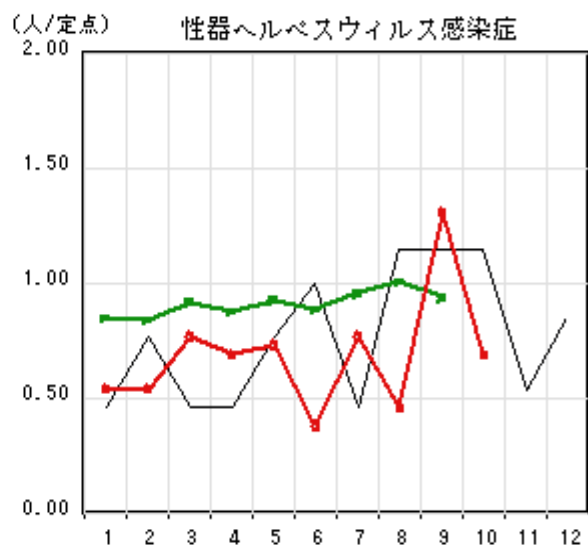
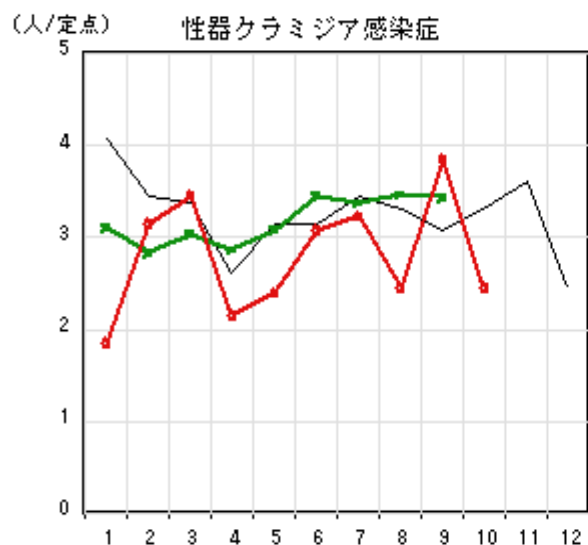
無菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。  
マイコプラズマ肺炎は、全国値よりも高く推移しています。



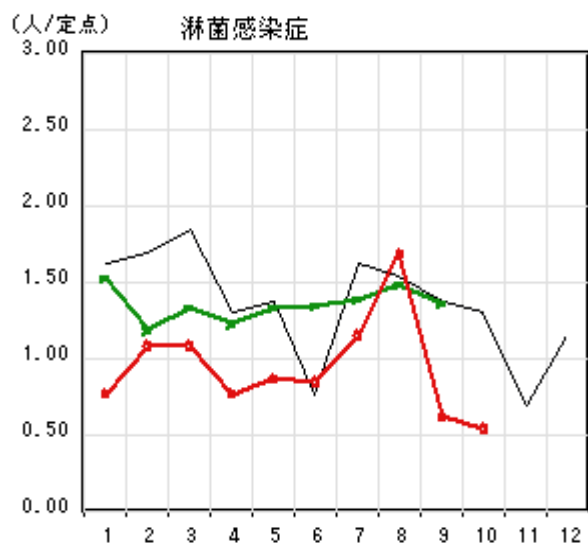
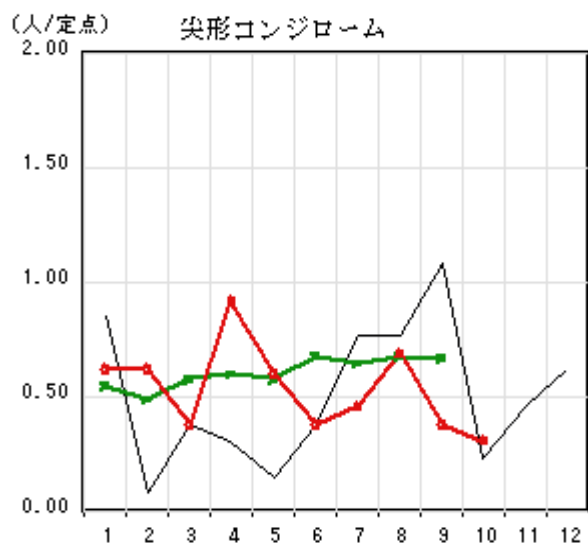
クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

## 6.STD 感染症の月別推移

○—○ : 当年 (青森県)    — : 前年 (青森県)    ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症とも減少傾向に転じました。



尖形コンジローム、淋菌感染症とも減少傾向にあります。